

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜盲学校

学校番号	101
------	-----

自己評価

学校教育目標	障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し、互いに助け合い、明朗で、たくましく生きる力を身に付け、社会に貢献する児童生徒を育成する。
評価する領域・分野	ふれあい支援部「保護者、地域との連携」「教育環境整備」
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は授業や学校行事等を参観する機会を設けて、教育活動について積極的に公開している。」あてはまる、ややあてはまるが82%と高い数値である。PTA活動は授業参観等の学校行事と連携して行っており、保護者の参加率も高い傾向にある。ここ数年PTA会員数の減少とともに組織の統合や行事の精選を行っており、保護者の負担を減らしながら、参加しやすいPTA活動を進めていく。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズを把握し、誰でも・気軽に・楽しく参加できるPTA活動を目指す。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職とふれあい支援部、視覚障がい支援部、進路支援部、PTA役員のメンバーによる協力体制によりPTA活動を運営する。
目標の達成に必要な具体的取組	<p><保護者・地域との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会・実行委員会を実施し、組織の円滑な運営を目指す。 ・行事・広報・研修の3委員会を中心として主なPTA行事を実施する。 ・1月に保護者アンケートを実施し、保護者の意見を吸い上げ次年度に生かす。 ・点字ブロック理解推進活動を実施して、視覚障がいについて地域社会への理解啓発を促す。 <p><教育環境の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イエローシートキャンペーンへの参加を通して学校用品を購入し、教育活動に役立てる。ベルマーク、インカートリッジの収集活動を継続する。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズを把握し、有意義なPTA活動を実施することができたか。 ・学校の教育環境が改善されたか。
取組状況・実践内容等	<p><保護者・地域との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会・2回のPTA実行委員会は集合型で実施できた。 ・行事委員会主催の「おしゃべりサロン」では、家庭での様子を交流したり保護者間の親睦を深めたりすることができた。 ・広報委員会では、「梅ヶ枝」を発行し、児童生徒の学校生活の様子を、PTAや他の特別支援学校に知らせることができた。 ・研修委員会主催の「PTA研修会」「福祉振興大会への参加」は予定通り実施し、有意義な研修となった。 ・保護者アンケートを実施して、保護者のニーズを吸い上げた。 ・点字ブロック理解推進活動は、3月に実施予定である。 <p><教育環境の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「黄色いシートキャンペーン」イオン(株)で贈呈されたポイントで学校用品を購入し、教育活動に役立てることができた。ベルマーク、インカートリッジの収集活動は継続して実施した。
評価の視点	評価
① 保護者のニーズを実現したり、様々な声に耳を傾けたりしていたか。	A (B) C D
② 様々なPTA活動を実施することができたか。	(A) B C D
③ 情報提供や教育環境整備ができたか。	A (B) C D
成果・課題	総合評価

○今年度は4月の総会で提示した予定通りのPTA行事を実施することができた。 ▲児童生徒数及び保護者数の減少に伴って、PTA組織の統合や行事の精選を図る必要がある。		A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の負担軽減を図りながら、ニーズに合ったPTA活動の実施を目指す。 ・継続してPTA組織の統合や行事の精選を図る。 	

学校関係者評価 (令和5年6月22日、同年11月3日、令和6年1月31日実施)

<p>意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方が積極的にPTA活動に参加できていることが理解できる。今後、児童生徒の減少に伴いPTA活動の在り方について検討していく必要がある。
--